



Level up your happiness



令和9年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和8年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス

コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 鯉沼 久史

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 (TEL) 045-562-8111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績(令和8年4月1日～令和8年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和9年3月期第1四半期	17,368	17.4	5,407	51.3	15,719	79.2	11,348	86.9
令和8年3月期第1四半期	14,800	△15.9	3,574	△37.5	8,769	△53.1	6,072	△55.5

(注) 包括利益 令和9年3月期第1四半期 29,438百万円(78.5%) 令和8年3月期第1四半期 16,495百万円(△14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和9年3月期第1四半期	33.97	—
令和8年3月期第1四半期	19.23	19.20

(注) 令和9年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和9年3月期第1四半期	333,923	279,963	83.6	835.72
令和8年3月期	313,662	272,536	86.7	813.60

(参考) 自己資本 令和9年3月期第1四半期 279,202百万円 令和8年3月期 271,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和8年3月期	—	0.00	—	66.00	66.00
令和9年3月期	—	—	—	—	—
令和9年3月期(予想)	—	0.00	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和9年3月期の連結業績予想(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	8.7	7,000	△12.1	12,000	△32.6	9,000	△33.2
通期	90,000	1.8	32,000	△13.9	42,000	△26.3	31,000	△27.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー 社 (社名) ー 、除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

令和9年3月期1Q	336,096,924株	令和8年3月期	336,096,924株
令和9年3月期1Q	2,010,222株	令和8年3月期	2,010,124株
令和9年3月期1Q	334,086,733株	令和8年3月期1Q	315,864,626株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、令和8年7月27日 (月) にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は継続して緩やかに持ち直しているものの、地政学リスク等に伴う不透明感が続いています。

このような経営環境下において、第4次中期経営計画の2年目となる当期は、中長期での飛躍に向けた「成長のための基盤づくり」をテーマとして各種施策に取り組んでいます。

当第1四半期はパッケージゲーム2タイトルを発売し、スマートフォンでは当社グループがIPを許諾した2タイトルが運営を開始しました。前年度に発売した大型タイトルやバックカATALOGの販売が好調に推移し、既存のモバイルタイトルが収益に貢献したこと等により売上高、営業利益は前年同期を上回りました。営業外収支は金融市場の動向を注視しながら運用を行い、利益を計上しました。

これらの結果、売上高173億68百万円(前年同四半期比17.4%増)、営業利益54億7百万円(同51.3%増)、経常利益157億19百万円(同79.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益113億48百万円(同86.9%増)となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 159億30百万円 セグメント利益 52億88百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、6月にシリーズ最新作『信長の野望・飛翔』(今冬発売予定。PS5、Nintendo Switch 2^{※1}、Nintendo Switch^{※1}、Windows(Steam)用)を発表しました。また『三國志14』シリーズの世界累計出荷本数が100万本を突破し、同シリーズの決定版『三國志14 with パワーアップキット Complete Edition』(2026年9月10日発売予定。PS5、PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用)を発表しました。

「ω-Force」ブランドでは、6月にタクティカルハンティングアクションゲーム「進撃の巨人」シリーズの最新作『進撃の巨人3』(今冬発売予定。PS5、Nintendo Switch 2、XBOX Series X|S、Windows(Steam)用)を発表しました。また『ぽこ あ ポケモン』^{※2}の追加コンテンツ『ぽこ あ ポケモン エキスパンションパス』を発売しました。

「Team NINJA」ブランドでは『DEAD OR ALIVE 6 Last Round』(PS5、XBOX Series X|S、Windows(Steam)用)を6月に発売し「DEAD OR ALIVE 6」シリーズとして世界累計販売本数100万本を突破しました。また『Wo Long: Fallen Dynasty Complete Edition』のNintendo Switch 2 版(2026年9月3日発売予定)と同シリーズ最新作となる『Wo Long 2: Wings of Ember』(2027年初頭発売予定。PS5、Nintendo Switch 2、XBOX Series X|S、XBOX Game Pass、XBOX on PC、Windows(Steam)用)を発表しました。

「ガスト」ブランドでは『ユミアのアトリエ ～追憶の錬金術士と幻創の地～』のNintendo Switch 2 版を発売しました。また『カリアのアトリエ ～夜の王国と追憶の道標～』(2027年初頭発売予定。PS5、Nintendo Switch 2、XBOX Series X|S、Windows(Steam)用)を発表しました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、和風恋愛アドベンチャーゲーム『遙かなる時空の中で 龍宮の神子』が「アプリブ Best Mobile Game Award 2026」のストーリー・ナラティブ部門にて「優秀賞」を受賞しました。

「midas」ブランドでは、位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』において、ゲーム内でご当地イベントや映画とのコラボイベントを実施しました。

「AAAスタジオ」では、新規タイトルの開発に注力しました。

IP事業においては、当社グループがIPを許諾したスマートフォンゲーム2タイトルがサービスを開始しました。また、既存の許諾タイトルは引き続き収益に寄与しました。

※1 Nintendo Switch及びNintendo Switch 2 は任天堂株式会社の商標です。

※2 『ぽこ あ ポケモン』の国内の発売元は株式会社ポケモン、海外の発売元は任天堂株式会社です。

アミューズメント事業 売上高 11億20百万円 セグメント利益 1億65百万円

アミューズメント施設では既存店売上高が好調に推移しました。スロット・パチンコでは液晶ソフト受託開発に取り組み、開発受託3タイトルが稼働を開始しました。

不動産事業 売上高 3億34百万円 セグメント利益 75百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、引き続き高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 82百万円 セグメント損失 1億22百万円

ベンチャーキャピタル事業において、ファンドの管理費用が発生しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して202億61百万円増加し3,339億23百万円となりました。これは主に、投資有価証券が254億40百万円、有価証券が161億41百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が151億8百万円、売掛金及び契約資産が95億46百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して128億33百万円増加し539億59百万円となりました。これは主に、短期借入金が100億円、繰延税金負債が79億29百万円、未払金が36億23百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が86億36百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して74億27百万円増加し2,799億63百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が177億30百万円増加した一方で、利益剰余金が107億円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、令和8年4月27日に公表した令和9年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を上回っておりますが、世界経済や金融市場の動向を考慮し、現時点において業績予想の修正はございません。今後、業績予想数値に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,275	46,166
売掛金及び契約資産	20,871	11,325
有価証券	53,882	70,024
商品及び製品	149	275
仕掛品	25	29
原材料及び貯蔵品	158	161
その他	3,246	6,672
貸倒引当金	△2	-
流動資産合計	139,608	134,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,556	27,388
土地	27,964	27,964
建設仮勘定	1,773	1,571
その他（純額）	1,921	2,191
有形固定資産合計	59,216	59,117
無形固定資産		
その他	191	200
無形固定資産合計	191	200
投資その他の資産		
投資有価証券	101,687	127,127
退職給付に係る資産	7,482	7,682
繰延税金資産	2,490	2,004
その他	2,985	3,136
投資その他の資産合計	114,645	139,951
固定資産合計	174,054	199,268
資産合計	313,662	333,923

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,068	1,055
短期借入金	-	10,000
未払金	8,480	12,104
未払法人税等	11,684	3,048
賞与引当金	2,299	1,175
役員賞与引当金	448	125
その他	6,368	7,783
流動負債合計	30,349	35,293
固定負債		
繰延税金負債	9,955	17,884
その他	820	782
固定負債合計	10,776	18,666
負債合計	41,125	53,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	207,329	196,628
自己株式	△3,747	△3,747
株主資本合計	244,281	233,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,910	39,640
土地再評価差額金	△3,101	△3,101
為替換算調整勘定	6,521	6,926
退職給付に係る調整累計額	2,200	2,156
その他の包括利益累計額合計	27,532	45,622
新株予約権	722	761
純資産合計	272,536	279,963
負債純資産合計	313,662	333,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	14,800	17,368
売上原価	6,793	7,676
売上総利益	8,006	9,692
販売費及び一般管理費	4,432	4,285
営業利益	3,574	5,407
営業外収益		
受取利息	2,344	4,335
受取配当金	256	299
投資有価証券売却益	-	3,677
有価証券償還益	62	1,821
為替差益	-	455
デリバティブ評価益	3,353	1,842
その他	54	126
営業外収益合計	6,072	12,557
営業外費用		
投資有価証券評価損	136	-
有価証券償還損	293	366
為替差損	407	-
デリバティブ評価損	-	1,842
その他	40	37
営業外費用合計	877	2,246
経常利益	8,769	15,719
税金等調整前四半期純利益	8,769	15,719
法人税、住民税及び事業税	1,837	3,829
法人税等調整額	859	541
法人税等合計	2,696	4,370
四半期純利益	6,072	11,348
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,072	11,348

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	6,072	11,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,170	17,730
為替換算調整勘定	270	404
退職給付に係る調整額	△17	△44
その他の包括利益合計	10,422	18,090
四半期包括利益	16,495	29,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,495	29,438

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び期中連結財務諸表に係る我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,431	1,054	312	14,798	2	14,800
セグメント間の内部売上高又は振替高	151	-	-	151	74	226
計	13,583	1,054	312	14,949	77	15,026
セグメント利益又は損失(△)	3,706	103	75	3,885	△310	3,574

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,911	1,120	334	17,366	2	17,368
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	-	-	18	80	99
計	15,930	1,120	334	17,385	82	17,467
セグメント利益又は損失(△)	5,288	165	75	5,529	△122	5,407

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	449百万円	529百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。